

SDGs

って何だろう？

SDGsとは「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称で、地球で暮らし続けるために、2030年までに達成を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されていて、地球上の「誰ひとり取り残さない」ことを誓っています。
人権、経済、社会、地球環境などさまざまな課題とSDGsのつながりを知り、「わたしたちができること」や「持続可能な社会」のためには何が必要なのか考えてみましょう。



9 産業と技術革新の基礎をつくらう
産業と技術革新の基礎をつくらう

10 人や国の不平等をなくそう
人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを
住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任
つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を
気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう
海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう
陸の豊かさも守ろう

16 平和と公正をすべての人に
平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう
パートナーシップで目標を達成しよう

169のターゲットはこちらから

SDGs 17のゴール

1 貧困をなくそう
貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに
飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を
すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに
質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に
安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も
働きがいも経済成長も

塩竈で、地球で、暮らし続けるために わたしたちにできるSDGsへの取り組みは？

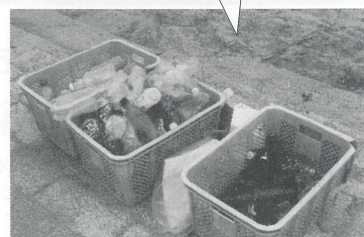
海をきれいに！ 魚が住める豊かな海を守ろう！

皆さんはこの夏、桂島海水浴場に遊びに行きましたか？きれいな海と砂浜は塩竈の魅力の一つです。ボランティアによるペットボトルなどのごみを回収するビーチクリーン活動が行われています。



海に漂うプラスチックは魚の大敵
毎年800万t以上のプラスチックごみが海に流れています。ごみ袋などが魚に絡みつく、鳥や魚がエサと間違えてマイクロプラスチック(細かい破片となったプラスチック)を食べてしまいます。

ビーチクリーン活動やごみ拾いは、まちをきれいにし、海に漂うプラスチックごみを減らすことができます。プラスチックごみが波や紫外線の影響を受け、マイクロプラスチックに変わることを防ぎ、魚や海を守る活動にもつながります。



SDGsはまちづくりにも～8つの塩竈物語～

塩竈市では「海と社に育まれる楽しい塩竈」の実現に向けてまちづくりの目標と方向性を定めています。未来に続く8つの塩竈物語とSDGsのつながりを考えてみよう！

子どもたちの笑い声があふれるまち

日常に彩りがあるまち

何度でも訪れたいまち

みんなが主役になれるまち

活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち

みんなが生き生きしているまち

快適に住み続けられるまち

自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるまち

知ることもSDGsの取り組み!? 食品ロスクイズ!

クイズ1

食品ロスの約半分は家庭から捨てられています。食べ物を捨ててしまう理由の第1位は何でしょうか？

- (1) 賞味・消費期限切れ
- (2) 傷ませてしまった
- (3) 食べきれない

クイズ2

世界で生産される食品の約3分の1が捨てられています。その量は年間約何tでしょうか？

- (1) 1.3億t (2) 13億t (3) 130億t

答えは市ホームページでチェック▶



「もったいない」精神は食品ロス削減に貢献？

「もったいない」は、「モノ」の価値を十分生かせず、無駄になるようすを嘆くことを意味します。「もったいない」精神は、食べ物を残さない努力につながり、食品ロス削減に貢献しているとと言えますね。

しかし、食べすぎは要注意！
食べる順番の工夫や適度な運動をして、健康とSDGsを意識した冬休みを過ごしてみてください。

未来のために今からできることを考えてみよう!

- こまめな節電と、水を使いすぎないようにする
- ごみの分別とリサイクルを心がける
- レジ袋をマイバックに、ペットボトルをマイボトルに変える
- 世界のことを知る(キーワード：紛争地域や貧困、ジェンダー平等など)
- フェアトレード(公平・公正な貿易)商品を選ぶ
- 身近なことから取り組めるものがたくさんあります。SDGsを少しずつ意識して、わたしたちの未来、塩竈、地球を守ってみませんか？

